

# 自治体労働者の役割はたせる

# 賃金 権利 労働条件の改善を



全労連の小田川議長は、労働者の生活をかえりみない安倍内閣に対して「いったい誰のための政府なのか!」と訴えました

3月7日  
労働者総決起3・7中央行動  
共同のたたかいで  
未来をひらこう

19春闘前半の山場を前に全労連・国民春闘共闘などが、「中央行動」に取り組みました。総務省前では、自治労連の中川書記長が「19春闘とあわせ、統一地方選挙、参議院選挙を『政治を変えるチャンス』としてたたかう」ことを呼びかけました。雨が降る中、約1600人が集まり、銀座までのサウンドデモでは、「過労死・長時間労働をなくそう」「職場と地域から共同のたたかいで未来をひらこう」とアピールしました。

3月8日 八尾市職労  
「会計年度任用職員制度」学習会  
要求実現には組合加入を  
3月8日職場の非常勤職員・嘱託職員に案内し、「会計年度任用職員



八尾市職労の岩狭書記長が状況を報告。学習会終了後に組合加入もありました

制度』で公務労働はどうなるのか。よりよい働き方・身分・労働条件をめざして」と題して、大阪自治労連の仁木執行委員が説明しました。「仕事がなくなるのでは?」「今と何がかわるの?」などの事前アンケートにも応えながら「いい仕事

がしたい・安心して働きたい」という願いを実現するためにも、組合に入って力を貸してほしい」と訴え、最後には「目の前の住民や働く者のくらしや権利を守るための政治や行政にするために、選挙に行きましょう」とよびかけました。

# ぶつうに働けばまともな生活ができる賃金を実現しよう

3・8最賃1500円パレード



「最低賃金936円、全然足りない!」など、元気にアピールしました

大阪労連・非正規労働者部会のよびかけで、「安定した雇用に!均等待遇実現!貧困をなくそう!」と、中之島公園・水上ステージから西梅田公園までパレードを行いました。出発前集会で、最低賃金審議委員立候補者として自交総連の松下末宏さんが「すべての労働者の賃金の引き上げと大阪経済を良くすることにつながるこの運動を、力を合わせてがんばりたい」と決意表明しました。パレードでは、参加者が光アクセサリーを身に付け、社会派音楽グループ「MIC SUN LIFE」のラップ調のコールに合わせてアピール。商店から外に出てきたりビルの窓からのぞく人など、注目を集めました。

# 安心して働ける職場を 地域で 職場で 組合で 政治を語る

## 3・3春をよぶ 府民のつどい

つどいでは、「明るい会・よくする会」が作成したDVD「STOPカジノ・都構想くらし第一」が上映されました。各分野からカジノ誘致や都構想の問題点と、府民共同の運動がくらしの安心・希望につながる。ことなどが語られました。



「カジノというのは人々をズタズタにします。カジノに反対する運動は、大阪のまちの中に『人々のつながり、支えあう気持ち、これをつくることです』  
(阪南大学教授 桜田照雄さん)



「いまの維新の政治は、人々のくらしをいかに良くするかという姿勢がまったく欠けています。住民のためにやってくれる大阪の行政を期待したいので『維新はNO!』の一言で考えていただきたい」  
(弁護士 石田法子さん)



「福祉が経済かではなくて、福祉も経済も両立させようと思うと、行政がまず予算を福祉や教育にきちっとつかっていく、そういう方向性が重要です」  
(奈良女子大学教授 中山徹さん)

## 府議会開会日行動 2月25日

## 府民の要求をアピール

府民要求連絡会は、2月府議会の開会日行動に取り組みました。昼休み集会は、大阪城公園・芝生広場で100人をこえる参加で、障害児学校教職員組合からは「支援学校の新設に背を向ける維新府政、通学バスで片道1時間半もかけて登下校する子どもがいる」と告発、「カジノではなく教育を」と訴えました。

## 今月のキーワード

ベイビー・シャーク (Baby Shark)

ここ数年世界中で大ブレイクしている幼児向けの童謡、赤ちゃんザメと家族が、ペンギン一家をみつけて追いかけるお話です。今年に入り、ビルボードランキング32位となっています。原曲は北米地域の口承童謡で、アメリカでは20年以上前から保育園やサマキヤンパなどでよく歌われてきた曲です。ブレイクのきっかけは、2016年から公開されているYouTube動画。韓国の知育ブランドPingpongが公開したビデオは、これまでに20億回以上再生されています。耳に残るメロディーとシンプルな振り付けに、子どもだけでなく大人も楽しめ、今では日本語版を含め11カ国語に翻訳され100バージョン以上あるといわれています。

## 今月のキーワード

政治の役割

「政治の役割はふたつあります。一つは、国民を飢えさせないこと、安全な食べ物を食べさせること。もう一つは、これが最も大事です。絶対に戦争をしないこと!」2014年の沖縄県知事選挙の最中、11月1日の「翁長雄志うまんちゅ1万人大集会」で菅原文太が応援演説のはじめに述べた言葉です。憲法前文には「そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原則であり、この憲法は、かかる原理に基づくものである」と記されています。